

株式
会社 **エー・アンド・ティ**
(証券コード：7745 東証1部)

AND
Discover Precision

**2020年3月期第2四半期
決算説明会**
2019年11月27日



**X線検査機
AD-4991シリーズ**

- 1. 2020年3月期第2四半期業績の総括**
- 2. 2020年3月期下期重点施策と通期の業績見通し**
- 3. 成長戦略と中期経営計画**
- 4. 参考資料**

1. 2020年3月期第2四半期 業績の総括

2020年3月期第2四半期ハイライト



- 前年同期比増収、営業利益、経常利益は増益となるも、円高、景気後退による在庫調整等で期初計画は未達
- 前期に連結子会社化した（株）ホロンの半導体機器関連の売上は上期を通して貢献する一方、法人税の増加等により四半期純利益は減益
- DSPシステムは、自動車メーカーの設備投資の見直しの影響等により、連結では前年同期比マイナスで着地
- 家庭用血圧計は、ロシア、米国、カナダで引き続き売上が好調

※DSPシステム：計測・制御シミュレーションシステム

2020年3月期第2四半期業績の概況



■売上高、営業利益、経常利益の計画未達要因

- 為替相場が当初の予想よりも円高傾向で推移
- 米中貿易摩擦や日韓関係の悪化に伴って幅広い地域で需要が減退
- 大型案件の受注及び検収時期の期ずれ

■親会社株主に帰属する四半期純利益が計画を上回った要因

- 税金費用と非支配株主に帰属する四半期純利益が予想水準を下回る

(単位：百万円)

連 結 損 益	2019/3期 2Q累計(実績)	2020/3期 2Q累計(実績)	前年同期比	2020/3期 2Q累計(計画)	計画比
売 上 高	21,003	22,826	+8.7%	24,600	-7.2%
売 上 原 価	11,890	12,788	+7.6%	13,850	-7.7%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	8,763	9,093	+3.8%	9,510	-4.4%
営 業 利 益	348	944	+170.7%	1,240	-23.8%
経 常 利 益	401	771	+92.0%	1,060	-27.3%
税 引 き 前 益	427	756	+77.0%	1,060	-28.6%
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	305	182	-40.2%	80	+128.7%
1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益 (円)	14.93	8.93	-40.2%	4.88	+83.0%

事業内容と2020年3月期第2四半期売上規模



医療・健康機器事業

計量・計測機器事業

健康機器 69億円

計測機器 12億円



家庭用血圧計



超音波温熱吸入器

医療機器 18億円



生体情報モニター

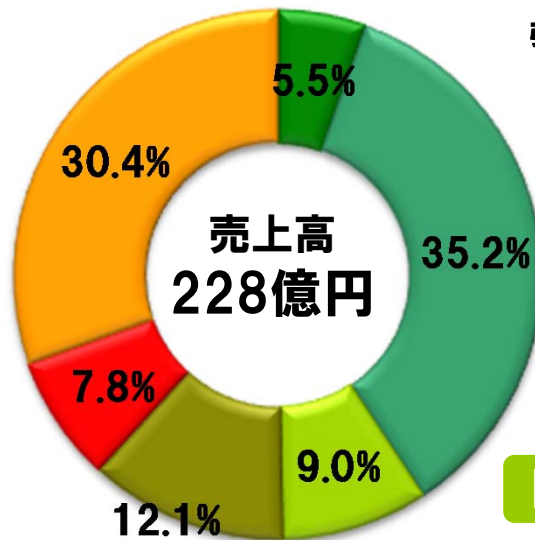


全自動血圧計



電子銃・ビーム偏向回路

半導体関連 28億円



引張・圧縮試験機



小型振動・騒音解析システム

計量機器 80億円



分析用電子天秤



ウェイトチェッカ

DSP機器 21億円

※DSP = 高速演算処理装置



車載統合計測システム (VMS)



リアルロードシミュレータ



タイヤ転がり抵抗試験機

セグメント別業績の概要



(単位：百万円)

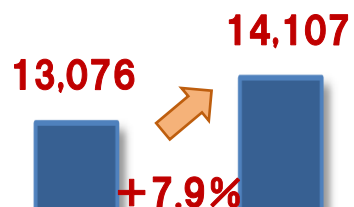
連 結 損 益	2019/3期 2Q累計(実績)	2020/3期 2Q累計(実績)	前年同期比	2020/3期 2Q累計(計画)	計画比
売 上 高	21,003	22,826	+8.7%	24,600	-7.2%
計測・計量機器	13,076	14,107	+7.9%	15,920	-11.4%
医療・健康機器	7,926	8,718	+10.0%	8,680	+0.4%
売 上 原 価	11,890	12,788	+7.6%	13,850	-7.7%
計測・計量機器	7,471	8,034	+7.5%	9,120	-11.9%
医療・健康機器	4,033	4,765	+18.2%	4,730	+0.7%
販 管 費	8,763	9,093	+3.8%	9,510	-4.4%
計測・計量機器	4,936	5,274	+6.9%	5,620	-6.1%
医療・健康機器	3,142	3,106	-1.2%	3,050	+1.8%
営 業 利 益	348	944	+170.7%	1,240	-23.8%
計測・計量機器	668	799	+19.5%	1,180	-32.2%
医療・健康機器	750	847	+12.9%	900	-5.8%
全 社 / 消 去	△1,070	△702	—	△840	—

計測・計量機器事業 実績－1



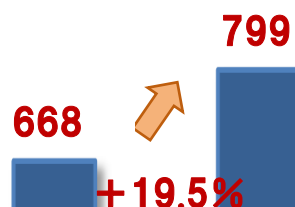
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



1. 半導体機器関連が売上の伸長を牽引

⇒売上高は前年同期比

7.9%増

2. 売上の増加に伴い営業利益も増加

⇒営業利益は前年同期比

19.5%増

2019年
3月期
2Q累計

2020年
3月期
2Q累計

2019年
3月期
2Q累計

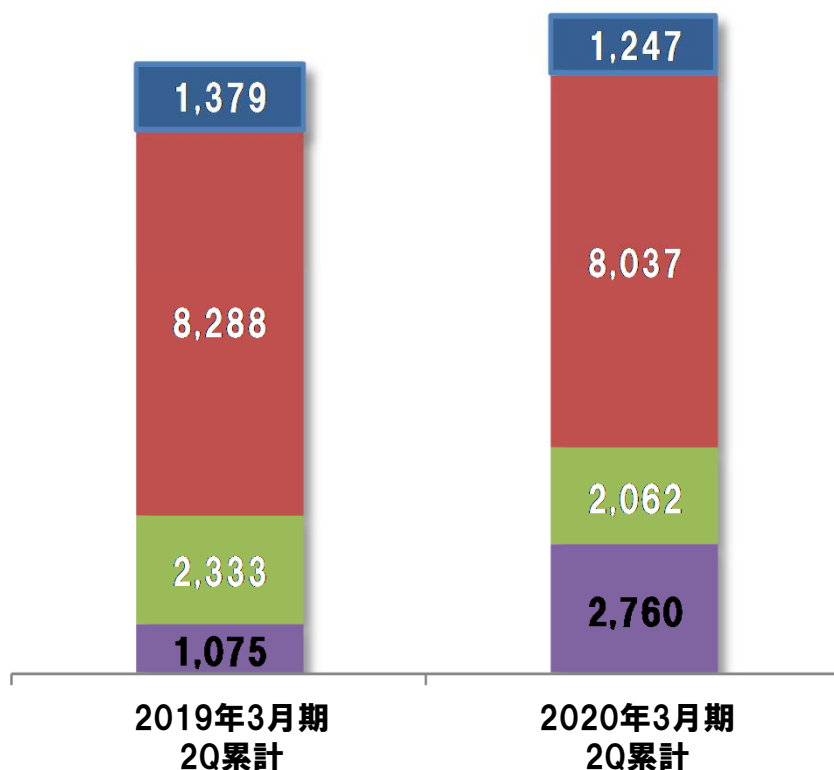
2020年
3月期
2Q累計

計測・計量機器事業 実績－2



製品別売上高 (単位：百万円)

- 計測機器
- 計量機器
- 計測・制御・シミュレーションシステム (DSP)
- 電子ビーム関連事業



計測機器

- 前年同期にあった韓国での試験機の特需が一段落したことから売上が減少

計量機器

- 国内は、インジケータ、天秤を中心に堅調に推移
- 海外は、豪州において金属検出機・ウェイトチェッカが前連結会計年度から引き続き好調で現地通貨ベースでは売上を伸ばしたものの、前年同期比で円高傾向で推移したことから売上は減少

DSP

- パワートレインベンチ等好調な品目があった一方で全般的に苦戦し、売上は減少

電子ビーム関連事業

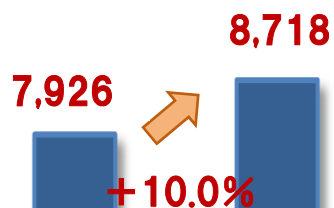
- 半導体関連の売上が大幅増

医療・健康機器事業 実績－1



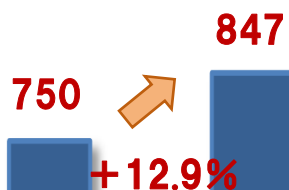
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



1. 国内の医療機器は売上増加、米州の医療機器は売上大幅増と堅調に推移。健康機器は国内で売上が減少した一方、海外では売上増加

⇒売上高は前年同期比

10.0%増

2. 売上の増加と原価率の改善、および経費抑制により、営業利益は大幅に増加

⇒営業利益は前年同期比

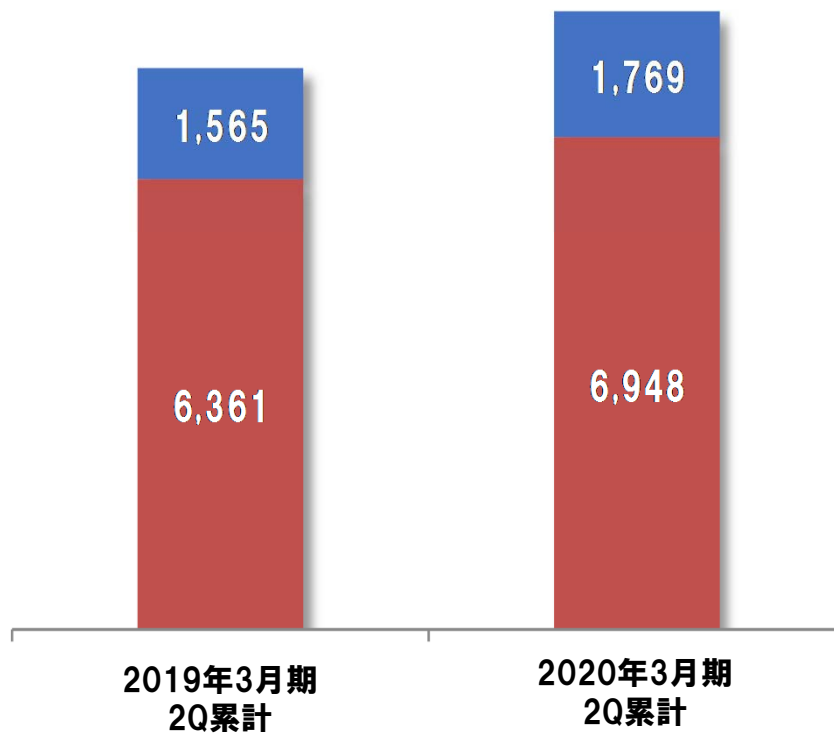
12.9%増

医療・健康機器事業 実績－2



製品別売上高 (単位：百万円)

■ 健康機器 ■ 医療機器



医療機器

- 海外で全自動血圧計の売上が好調

健康機器

- 海外でロシアおよび米国、カナダを中心に売上は好調に推移

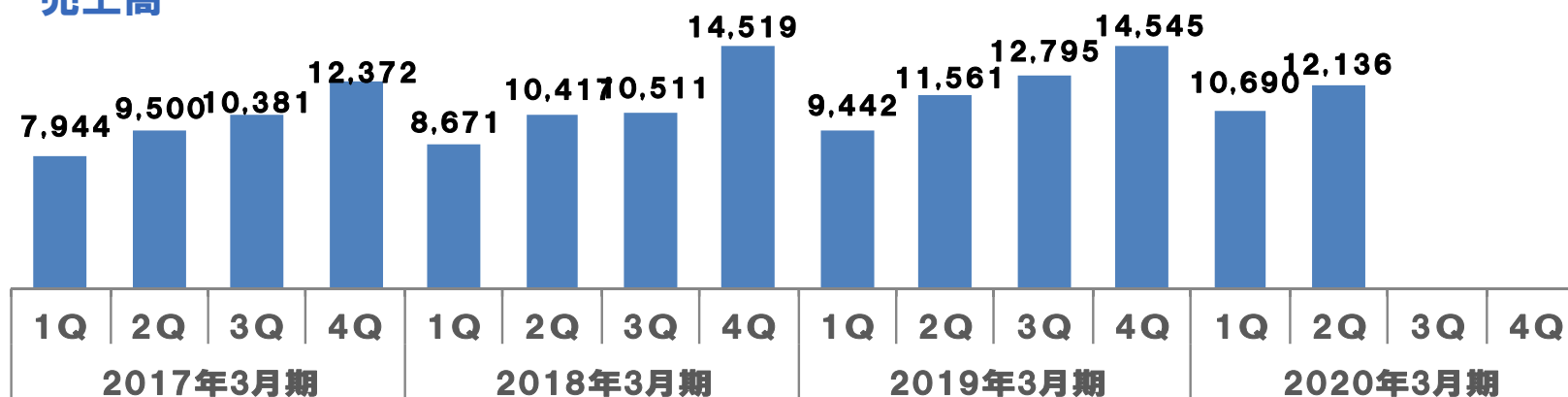
四半期別売上高および営業利益の推移



売上高・営業利益とも着実に前年同期を上回り推移

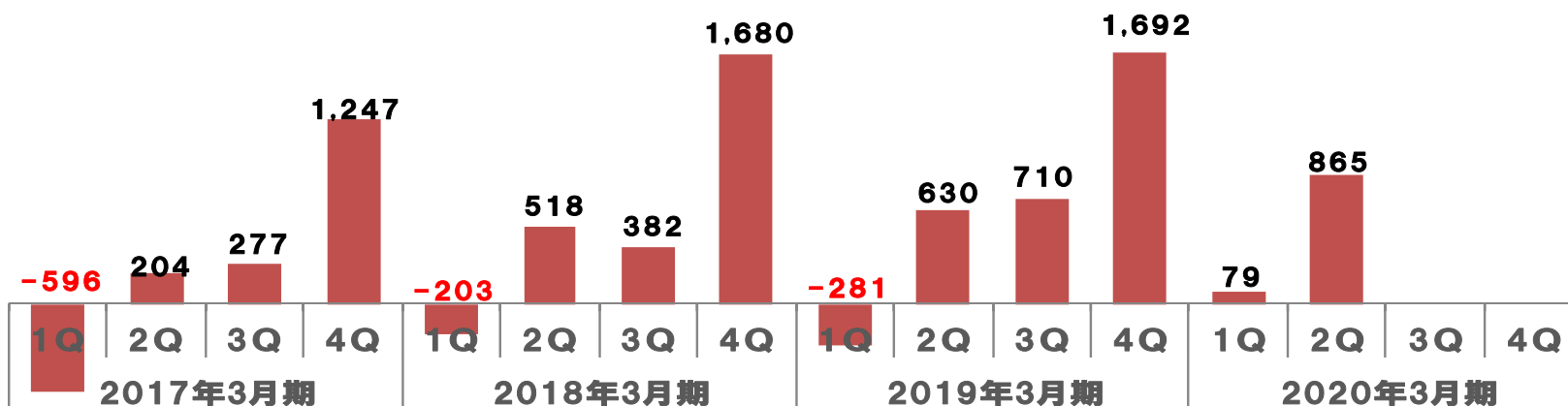
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円

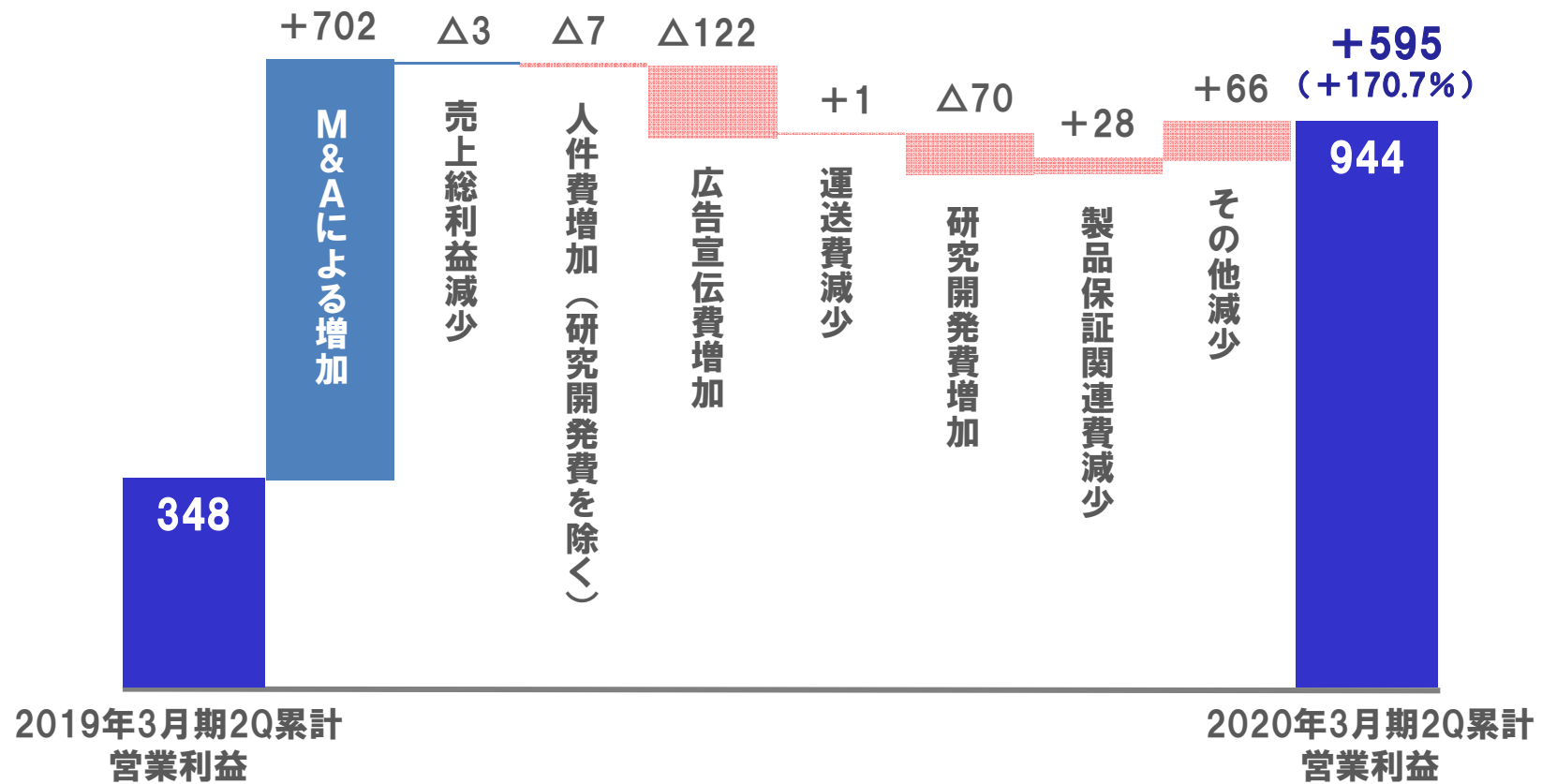


営業利益増減要因（前年同期比）



M & A の効果により営業利益が前年同期比で大幅に増加

(単位：百万円)

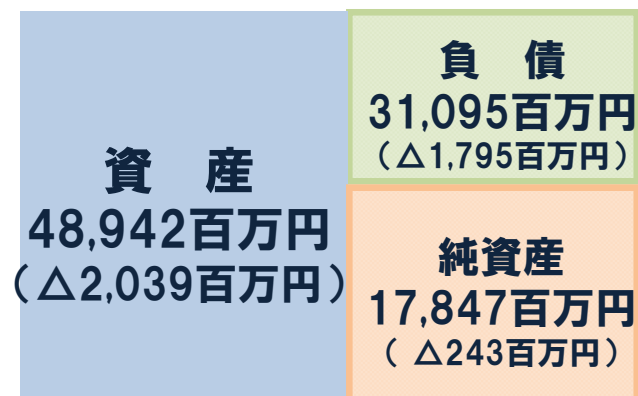


財務分析（貸借対照表）



財務状況

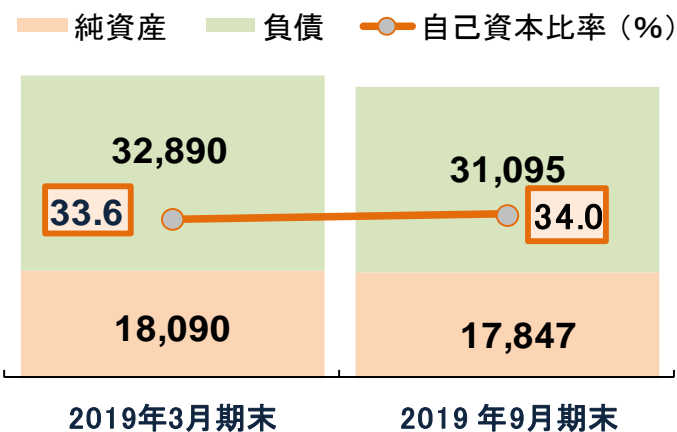
2019/9末 ※()内は2019/3期末比



(単位:百万円)	2019/3末	2019/9末
流動資産	37,141	34,986
固定資産	13,840	13,956
資産合計	50,981	48,942
流動負債	26,794	24,113
固定負債	6,096	6,982
負債合計	32,890	31,095
純資産合計	18,090	17,847

負債・純資産・自己資本比率

(単位:百万円)



受取手形及び売掛金を中心とした流動資産の減少
 △2,155百万円
 有形固定資産の増加等による固定資産の増加
 115百万円

支払手形及び買掛金や短期借入金の減少等による流動負債の減少
 △2,681百万円
 長期借入金やリース債務の増加等による固定負債の増加
 885百万円

為替換算調整勘定の減少等によるその他の包括利益累計額の減少
 △445百万円

2. 2020年3月期下期重点施策と 通期業績見通し

下期重点施策



- **ガバナンス強化による海外子会社の収益改善**
- **開発効率を意識した研究開発費の抑制**
- **グローバル調達によるコストダウンの推進**
- **自動車業界およびタイヤ業界向けDSPシステムの受注活動強化**
- **新製品の上市（新型上腕式ホースレス血圧計等）**



上腕式ホースレス血圧計

2020年3月期通期業績見通し



第2四半期連結累計期間の実績と今後の為替相場や需要予測等、最新の見通しを
ふまえ、通期業績予想を修正

(単位：百万円)

連 結 損 益	2019/3期 (実績)	2020/3期		2020/3期 (修正後予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
売 上 高	48,344	22,826	27,173	50,000	+3.4%
売 上 原 価	27,513	12,788	15,901	28,690	+4.3%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	18,079	9,093	9,016	18,110	+0.2%
営 業 利 益	2,751	944	2,255	3,200	+16.3%
経 常 利 益	2,683	771	2,128	2,900	+8.1%
税 引 き 前 利 益	2,711	756	2,128	2,885	+6.4%
親会社株主に帰属す る 当 期 純 利 益	1,900	182	1,537	1,720	-9.5%
1 株 当 たり 利 益 (円)	92.74	8.93	75.02	83.95	-9.5%

1. 2020年3月期通期予想は、11月7日付の「2020年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の
差異及び 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表した予想
2. 想定為替レート：1ドル=108円、1ルーブル=1.7円

セグメント別通期業績見通し



連 結 損 益	2019/3期 (実績)	2020/3期		2020/3期 (修正後予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
売 上 高	48,344	22,826	27,173	50,000	+3.4%
計測・計量機器	29,896	14,107	17,092	31,200	+4.4%
医療・健康機器	18,448	8,718	10,081	18,800	+1.9%
売 上 原 価	27,513	12,788	15,901	28,690	+4.3%
計測・計量機器	17,222	8,034	9,915	17,950	+4.2%
医療・健康機器	10,034	4,765	5,974	10,740	+7.0%
販 管 費	18,079	9,093	9,016	18,110	+0.2%
計測・計量機器	10,181	5,274	5,165	10,440	+2.5%
医療・健康機器	6,447	3,106	3,063	6,170	-4.3%
営 業 利 益	2,751	944	2,255	3,200	+16.3%
計測・計量機器	2,491	799	2,010	2,810	+12.8%
医療・健康機器	1,965	847	1,042	1,890	-3.9%
全 社 / 消 去	△1,706	△702	△797	△1,500	—

ホロンの連結子会社化による通期業績への影響



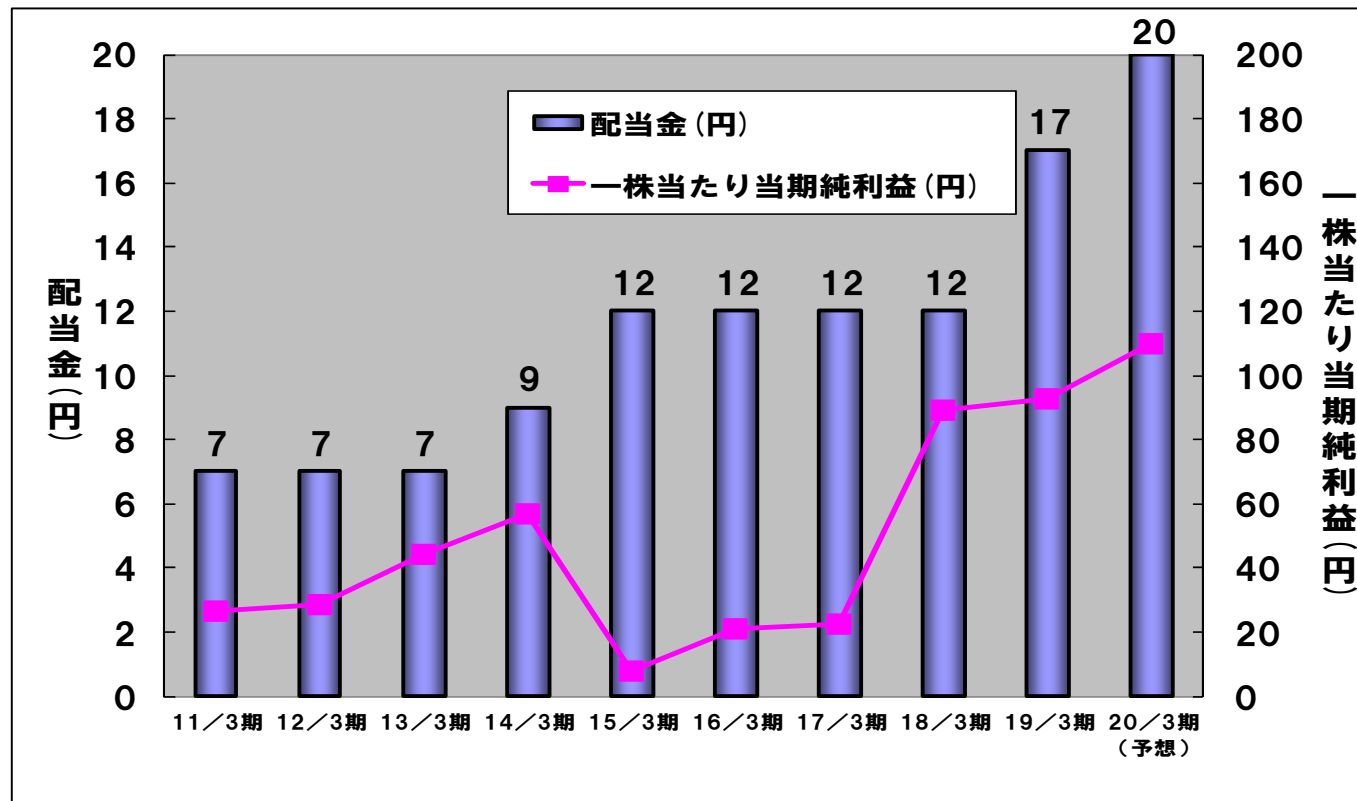
(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期		ホロン 含まない 前期比	ホロン 含む 前期比
	ホロン 含まない	ホロン含む	ホロン 含まない	ホロン含む		
売上高	46,416	48,344	46,253	50,000	-0.4%	+3.4%
営業利益	2,309	2,751	2,079	3,200	-9.9%	+16.3%
経常利益	2,235	2,683	1,793	2,900	-19.8%	+8.1%
当期純利益	1,745	1,900	1,335	1,720	-23.5%	-9.5%

株主還元



- 2019年3月期は中間配当を2円上乘せし7円に増配、期末配当は3円上乘せし10円に増配、年間配当は17円
- 2020年3月期の年間配当は3円増配の20円を予定



3. 成長戦略と中期経営計画

中期的課題と対策

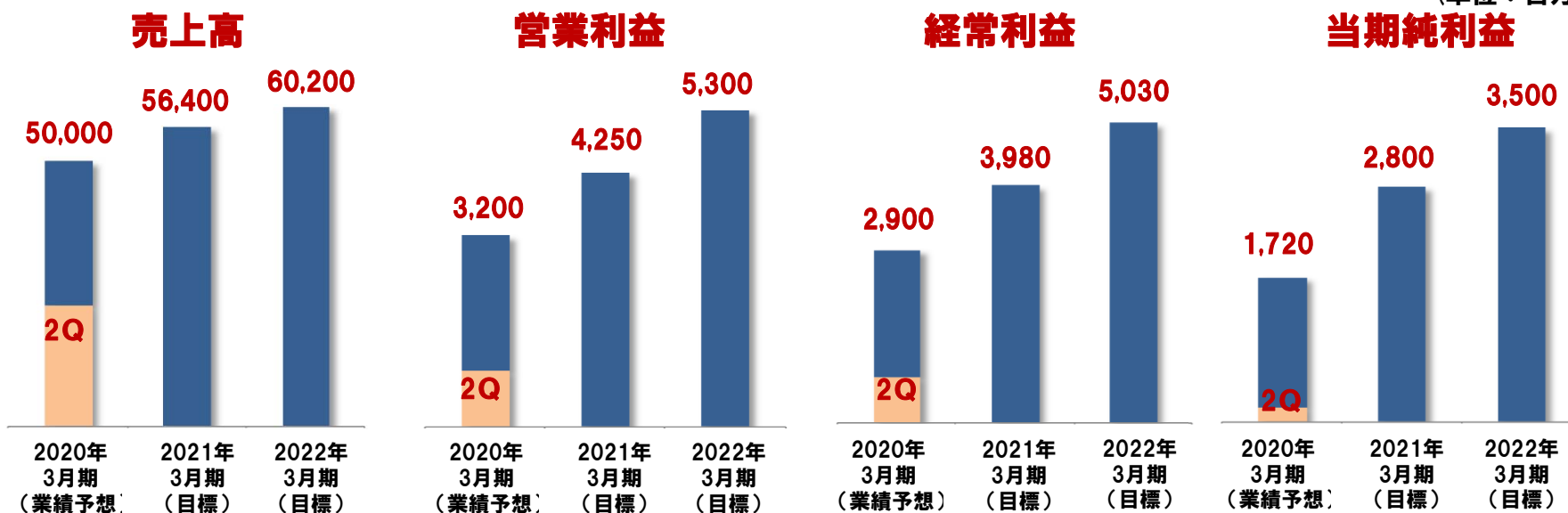


課題	対策
収益力強化	<ul style="list-style-type: none">➤ AI、IoTへの対応推進による差別化（血圧計等の健康機器、異物検出装置のネットワーク化等）➤ 市場要求に対応した製品企画と開発期間の短縮➤ 長期的メンテナンスサービスでの安心感の訴求による顧客の囲い込み
生産性の向上	<ul style="list-style-type: none">➤ グローバル調達活動の継続と横展開、製品の標準化による徹底したコストダウン➤ 生産リードタイムの短縮と在庫の圧縮➤ 製品と生産拠点の特性を見据えた最適配置
グローバルガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none">➤ グローバル人材の確保➤ 組織マネジメントの強化

中期経営計画 数値目標



(単位：百万円)



(百万円)	2019年3月期 実績	2020年3月期 業績予想	2021年3月期 目標	2022年3月期 目標
売上高	48,344	50,000	56,400	60,200
営業利益	2,751	3,200	4,250	5,300
経常利益	2,683	2,900	3,980	5,030
親会社株主に帰属する当期純利益	1,900	1,720	2,800	3,500
売上高営業利益率 (%)	5.7%	6.4%	7.5%	8.8%

※ 当社では経営環境の変化等に対応するため、毎年度中期経営計画を改訂するローリング方式を採用しております。

AND
Discover Precision

4. 參考資料

会社概要



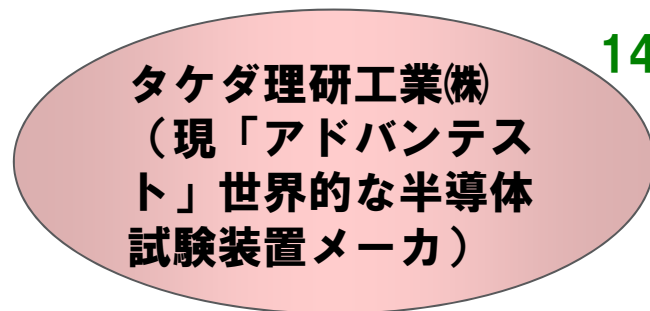
**A (アナログ) ↔ D (デジタル) 変換技術を根幹に
「はかる」を事業領域として
様々な分野の電子計測機器を提供します**

会社名	株式会社エー・アンド・デイ
事業所	本社：東京都豊島区 / 開発・技術センター：埼玉県北本市 国内：関係会社・営業所・事業所 22拠点 海外：12か国15拠点
設立	昭和52年 5月 6日
資本金	63億8,867万円 (2019/9/30現在)
従業員	729名 (連結 2,634名) (2019/9/30現在)
事業内容	電子計測器、電子計量機器、医療用電子機器、材料試験機 その他電子応用機器の研究開発、製造、販売

創業の経緯



1 技術者が集まって立ち上げたベンチャー企業です

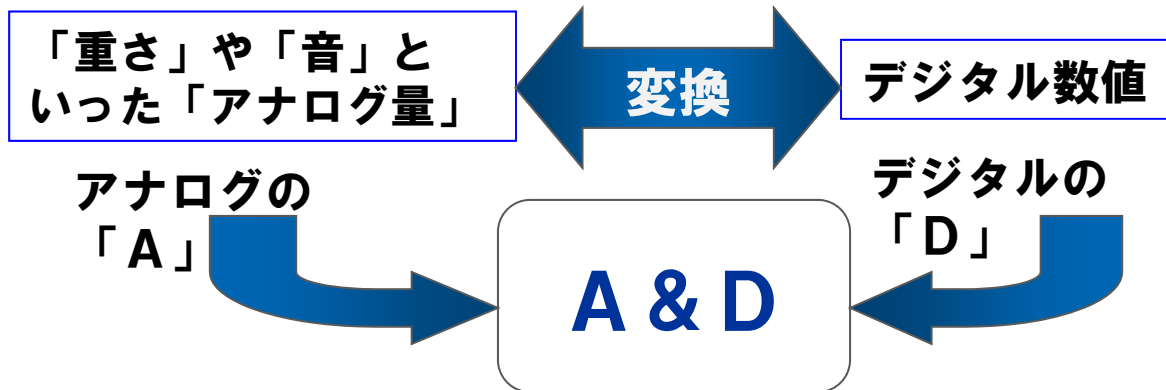


14名が集団でスピナウト

自分達が持つ技術を最大限生かし発展させ、産業社会に貢献する計測器の創造を目指して創業

2 社名の由来

当社の創業当時の基幹技術



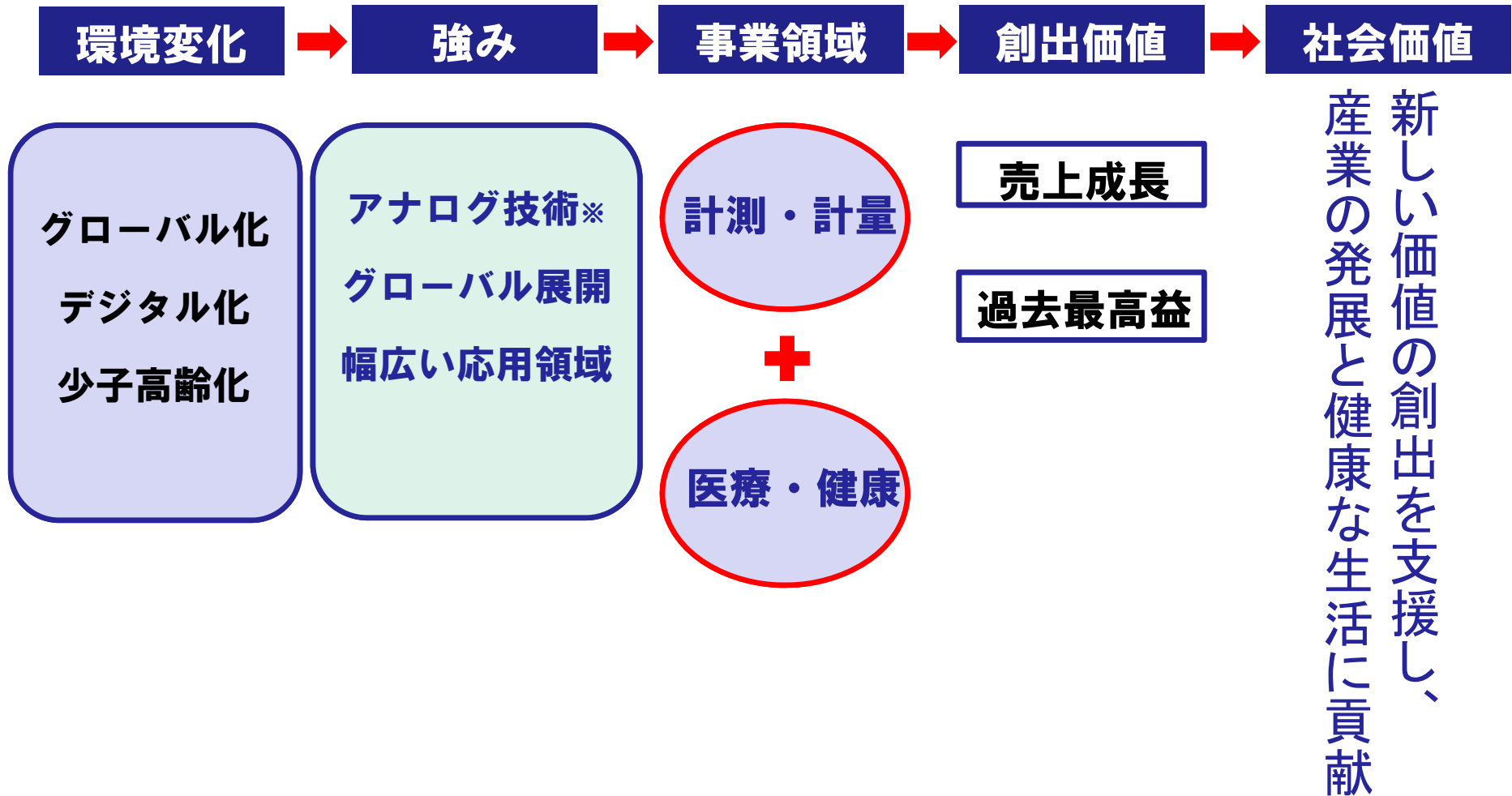
開発・技術センター

会社の沿革



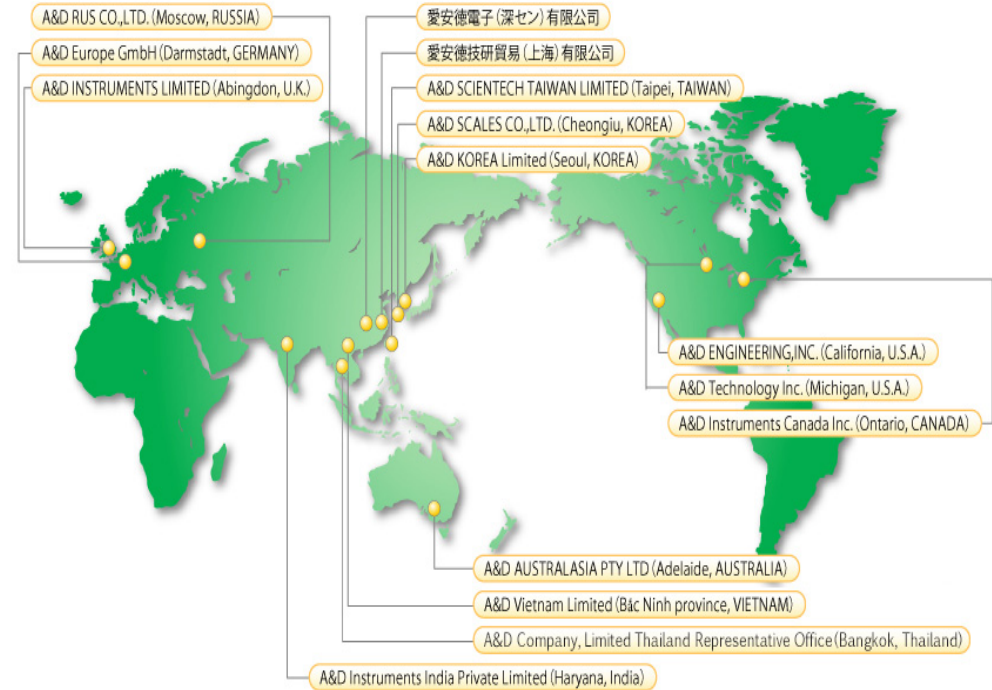
- 1977年 (株)エー・アンド・デイ設立
重量指示計のインジケータを開発し計量機器事業に参入
電電公社(現 NTT)電気通信研究所より電子ビーム露光装置のビーム偏向用「D/A(デジタル/アナログ)変換器」を受注
- 1978年 超LSI研究組合向けD/A変換器を受注
- 1982年 研精工業(株)を子会社化、電子天びん事業に参入
北米・中南米の販売拠点として、米国にA&D ENGINEERING, INC.を設立
- 1983年 音・振動の波形を解析するFFTアナライザ「AD-3521」を開発(15bit, 100kHzは当時世界最高性能)
- 1987年 (株)タケダメディカル(1989年に合併)と一手販売契約を締結、医療・健康機器事業に参入
- 1993年 (株)オリエンテック(現 連結子会社)と業務提携、試験機事業に参入
- 2000年 計測・制御・シミュレーションシステム「AD-5400シリーズ」を開発
- 2005年 MTS Systems Corporation社のPowertrain Technology部門を譲り受ける
- 2006年 東京証券取引所第一部上場
- 2013年 ウェイトチェッカ・金属検出機等の検査機器事業に参入
- 2015年 日本アビオニクス(株)より工業計測事業を譲り受ける
- 2018年 半導体測定・検査装置メーカーの(株)ホロンを連結子会社化

価値創造プロセス



※アナログ技術＝アナログとデジタルの変換技術

グローバルの概要



国内

当社営業所および事業所 14箇所
 関係会社 8社

A & Dは開発および販売を中心に活動
 生産主体は国内外関係会社
 海外販売は関係会社経由と直販を併用

海外

製造関係会社 3社
 製造兼販売関係会社 1社
 販売関係会社 10社
 駐在員事務所 1社

事業内容①



計測機器事業

音や振動、あるいは厚みや強度、変位など、様々な現象・物理量を計測し、解析するための計測機器を開発している事業です。



万能材料試験機



動的粘弾性自動測定器



自動車排気ガス分析計



油圧疲労試験機

事業内容②



計量機器事業

対象物の質量（重さ）を測定するための計量機器を中心に開発している事業です。

研究開発向けから生産、検査、学校向けまでの幅広い用途にお応えしており、 $1\mu\text{g}$ から数千tまで、高精度かつ正確に量ることができる製品を揃えております。



分析用天秤



防水電子台秤



ウェイング・インジケータ



熱中症計



ウェイト
チェッカ

事業内容③



DSP 機器事業

DSP (Digital Signal Processing) は、計測・制御・シミュレーションを一体化した、当社独自のテクノロジーです。計測したデータを基に実際の動作を制御する技術に加え、これまで設計段階でコンピュータモデルを使い、次いで試作機でデータを収集・分析するといった過程を踏んでいたシミュレーションの作業を一度に行うことができるため、開発期間の短縮やコスト削減に貢献します。

シミュレーション による車両設計検証

MILS (Model in the Loop simulation)
HILS (Hardware in the Loop simulation)



エンジン・駆動系 ユニット試験

テストベンチ
(Test Bench)



台上走行試験

RR-CD
(Real road-Chassis dynamo)



実車走行試験

VMS
(Vehicle Measurement System)



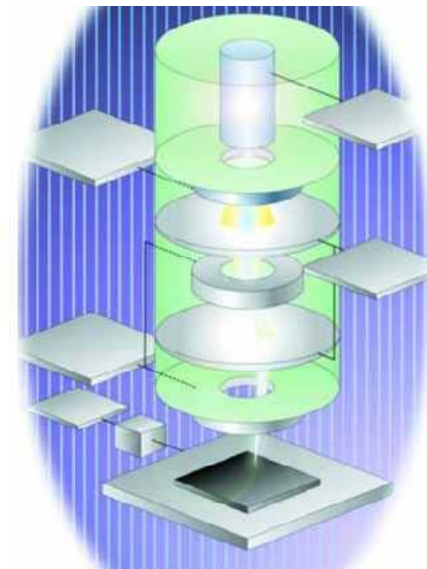
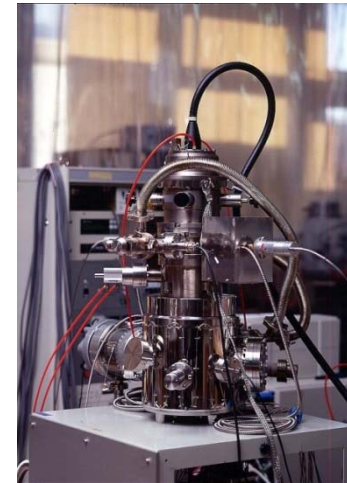
事業内容④

半導体関連事業

微細な半導体の回路を描画するための手段として、主にマスク製造（半導体のネガの様なもの）に電子ビームが利用されておりますが、当社は電子ビーム露光装置に組み込む基幹ユニットを半導体露光装置メーカーに提供しています。

当社が提供するビーム偏向回路は電子ビームの照射方向を制御するもので、精度・速度ともに世界最高水準です。

また、電子銃は電子ビームを発生させる設備で、世界でもトップクラスの出力と安定稼働率を備えており、ナノスケールの観察測定が可能な電子顕微鏡や、ナノスケールの加工に利用する電子ビーム微細加工装置などへ応用されています。



事業内容⑤

医療・健康機器事業

医療・介護施設から家庭用に至るまでさまざまな計測・計量機器を開発する事業で、血圧計やベッドサイドモニターなどの医療機器、産業用計量器で培われた技術を活かし医療・介護施設向けに開発した車椅子用体重計やストレッチャー型体重計などのメディカル計量器、家庭用の血圧計や体重計などの健康機器があります。

医療機器



全自動血圧計

セントラル
モニター

メディカル計量器



ストレッチャー
スケール

バリアフリー
スケール

健康機器



上腕式ホース
レス血圧計

通信機能付
体重計

AND
Discover Precision

ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。